2022 年度 1 学期期末試験 アメリカ政治 I (担当：庄司) <対面 90 分>

注意：持ち込みは不許可です。

【A】、【B】、【C】すべてにこたえること。必ず A、B、C の順に解答を記入し、選んだ設問の番号を【B】1 のように書くこと。

【A】 以下の設問からひとつ選び、10 行以内で今年度の授業内容に沿って答えなさい。(配点 20 点)

1. 連邦議会下院選挙区における「マイノリティ多数派選挙区」について、その創出の背景と 1990 年代以降実際に起きたことについて説明しなさい。
2. 連邦議会が官僚組織を統制する際に直面するジレンマについて、説明しなさい。
3. フランクリン・ルーズヴェルトが連邦最高裁の定数を増員しようとした事件の背景と理由、その結果について説明しなさい。

【B】 以下の設問からひとつ選び、今年度の授業内容に沿って答えなさい。(配点 40 点)

1. 1780 年代後半に、アメリカ合衆国憲法を各州が批准する過程で、どのような勢力が争ったのか、両派の立場と主な構成員のほか、代表性、専制、政府権力の制限をめぐる主張について説明しなさい。
2. アメリカにおける市民的自由と市民的権利の特徴を、両者の違いが明確にわかるように説明しなさい。そして、それぞれがどのように歴史的に発展してきたかを、代表的な判例や転機となった事件をもちいて論じなさい。

【C】 以下の設問からひとつ選び、今年度の授業内容に沿って答えなさい。その際、カッコの中の単語を必ず全部使用し、初出の際に下線を引いたうえで、文中でその定義や内容、歴史的意義などを適切に説明すること。(配点 40 点)

1. 連邦議会の委員会制度について、その特徴と意義、権限、過去の重要な改革、利益団体の影響を説明しなさい。
(「門番としての権限」；両院協議会；先任制；小委員会の時代；本会議における投票行動)
2. 連邦憲法によって定められている大統領の権限とその特徴を説明し、建国当初から現代にいたるまでの大統領と連邦議会の実際の力関係の変遷を述べなさい。さらに、近年大統領が活用している行政的手法とそのメリットについても論じなさい。
(委任された権限；リンカン；ニューディール；戦争権限法；大統領令)

(以上)